学校番号	1301

令和８年度　地歴公民科

教科	公民	科目	基礎社会	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	新高等地図　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校３年間の「社会」の内容の「学び直し」を行う科目である。
「学び直し」という観点から、基本的には中学校の範囲を学習する。
発展的な内容として、学んだ知識を活用して自らの意見をまとめるなどを行う。
中学校の「社会」から、高等学校の内容に移る助けとなるよう、前向きに取り組んでほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
歴史的事象や制度、外交関係など、学習を進める際に必要となる知識や技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
授業で得た知識・技能をもとに考えて、自分なりの意見を持つ。また、それをわかりやすく表現でき、歴史的事象の発生原因やその結果の予想など、自らの知識や資料を活用する技能を持ち仮説を立てられるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に授業に参加し、授業で学んだ内容を身に着けようと自分なりに工夫することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	学習した知識・技能が身についているか、主に歴史的事象や制度、外交関係など、学習を進める際に必要となる知識や技能の習得を目標とする。	授業で得た知識・技能をもとに考えて、自分なりの意見を持てたかどうか、それをわかりやすく表現できたかどうか、歴史的事象の発生原因やその結果の予想など、自らの知識や資料を活用する技能を持ち仮説を立てられるようになることを目標とする。	積極的に授業に参加しようとしているかどうか、授業で学んだ内容を身に着けようと自分なりに工夫しているかどうか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	世界の地理を学ぶ	■世界地図から、世界の特徴を捉えることができる ・世界地図を理解する ・時差について理解する ・世界の気候について理解する ・南北問題について理解する	a:地図や資料から適切な情報を抜き出すことができる。中学校程度の地理の知識を身につけている。 b:収集した情報をもとに、自らの考えを表現し、他者に伝えることができる。 c：自らの疑問を言語化するなどし、主体的に学習を深化させる姿勢を持つことができる。	確認テスト	プリント	振り返りシート 授業態度
ステージ2	日本の歴史を学ぶ	■日本史に興味を持ち、自らの生活と結びつけることができるようになる。 ・原始時代の特徴と文化について理解する。 ・古代の特徴と文化について理解する。 ・中世の特徴と文化について理解する。	a:史料や画像から適切な情報を抜き出すことができる。中学校程度の歴史の知識を身につけている。 b:収集した情報をもとに、自らの考えを表現し、他者に伝えることができる。 c：自らの疑問を言語化するなどし、主体的に学習を深化させる姿勢を持つことができる。	確認テスト	プリント	振り返りシート 授業態度
ステージ3	現代の社会を学ぶ	■現代の社会について学び、自らの生活と結びつけ、活用することができるようになる。 ・公正・公平について理解する。 ・日本国憲法について理解する。 ・三権について理解する。	a:資料以外にも自らの生活から適切な情報を発見することができる。中学校程度の地理の知識を身につけている。 b:収集した情報をもとに自らの考えを表現し、他者に伝えることができる。 c：自らの疑問を言語化するなどし、主体的に学習を深化させる姿勢を持つことができる。	確認テスト	プリント	振り返りシート 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度